

医療事務員としての覚悟

～現状と考察～

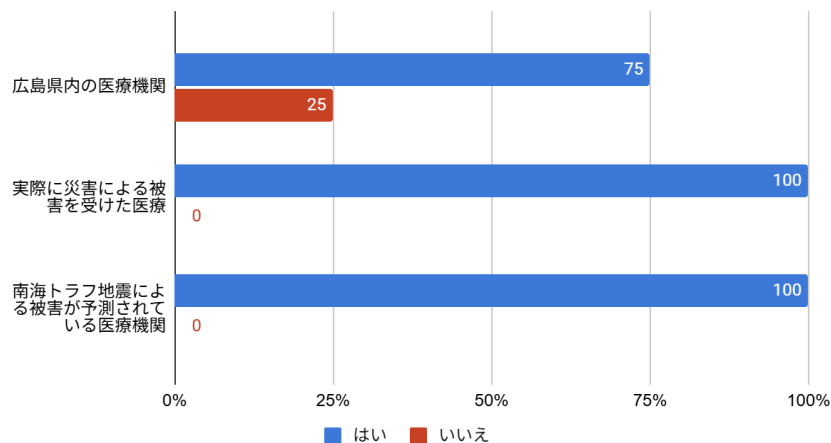
穴吹ビジネス専門学校
医療事務・クラーク学科 2年

近年、日本では自然災害が多発しており、災害発生時の対策や対応が不十分であることが問題となっています。これまでに東日本大震災、西日本豪雨、能登半島地震など大きな災害が発生し、現在でも南海トラフ地震が予測されています。そのような中で、自然災害が起きた際に医療事務として何ができるのかを考察し医療事務を学ぶ学生に共有することで、災害時における医療事務全体の機動力をあげることができると考えました。そこで、150の医療機関に自然災害への対策内容やマニュアルなどの項目についてアンケート調査を実施し、71の医療機関から返答をいただきました。

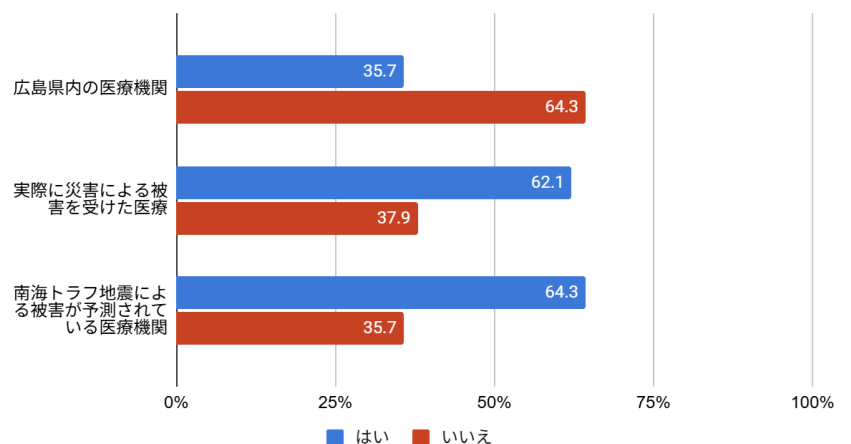
〈アンケート対象〉

広島県内の医療機関	51件 (28件)
実際に災害による被害を受けた医療機関	74件 (29件)
南海トラフ地震の被害が予想される医療機関	25件 (14件)
計	150件 (71件)

自然災害を想定した訓練を行っているか



実際に災害が起きたときに冷静に判断し行動することができるか



自然災害(大雨、火災、津波等)を想定した訓練の頻度

広島県内の医療機関

今後行う予定

12.5%

2年に1回

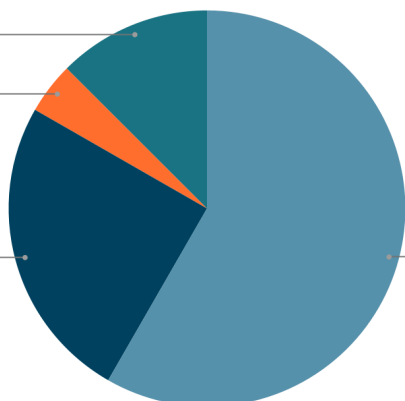
4.2%

半年に1回

25.0%

年に1回

58.3%



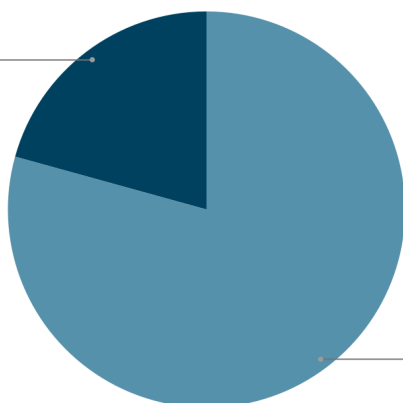
実際に災害による被害を受けた医療機関

半年に1回

20.7%

年に1回

79.3%



南海トラフ地震による被害が予測されている医療機関

月に1回

7.7%

3~4か月に1回

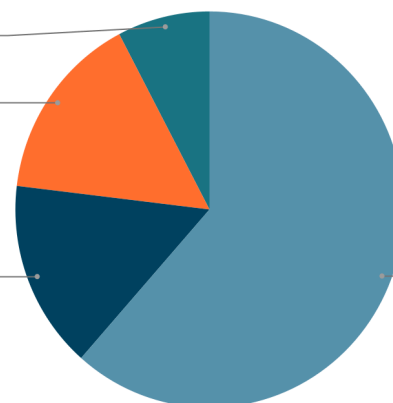
15.4%

半年に1回

15.4%

年に1回

61.5%



自然災害時に1番求められる行動は何か

(実際に災害による被害を受けた医療機関のみ)

資機材の調達・点検

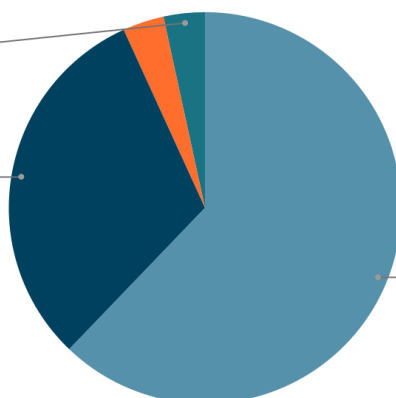
3.4%

データ管理と復旧支援

31.0%

情報収集と連絡調整

62.2%



<広島県の現状>

- ・ 訓練の頻度が低い
- ・ 災害時冷静に判断し行動できるか自信がない
- ・ 災害対策への意識が低い

<医療事務員が災害時に求められる行動>

①情報収集と連絡調整

- ・ 院内の被害、状況確認
- ・ 外部情報の収集
- ・ 情報管理



②データ管理と復旧支援

- ・ データの保全、バックアップ
- ・ システム、機器の被害確認
- ・ 復旧支援、代替手段の確認

③患者様の安全確保

- ・ 患者様の安否、安全確認
- ・ 避難、誘導支援
- ・ 情報提供と記録
- ・ 継続的なケア支援
- ・ 職員や患者様間のコミュニケーション



< 考察 >

自然災害発生時に医療事務に一番求められる行動の質問に対して「情報収集と連絡調達」、「データ管理と復旧支援」と答えた医療機関が多かったことから訓練ではこれらを重点的に実施したほうが良いと考えます。

患者様の安全確保については、常に患者様第一優先の意識をもっているため、災害時には情報収集と連絡調整が重要視されているのではないかと考察しました。訓練を行い備えることも大切ですが、日頃の業務が緊急事態時の迅速な対応に繋がることもあると分かりました。

< 最後に >

増加傾向にある自然災害と向き合っていくために、医療に従事する私たち一人ひとりが災害に対する意識を高める必要があります。

本資料が災害時における医療事務員の在り方について考えるきっかけになれば幸いです。

よろしければ資料を見た感想を下記のリンク、もしくはQRコードからお答えください。

<https://forms.gle/FBp5xjBsEAdr4nxp8>



何かございましたら、お手数ですがこちらまでご連絡ください。

E-mail : mc24113@anabuki-net.ne.jp

担当 瀬尾 こはな